

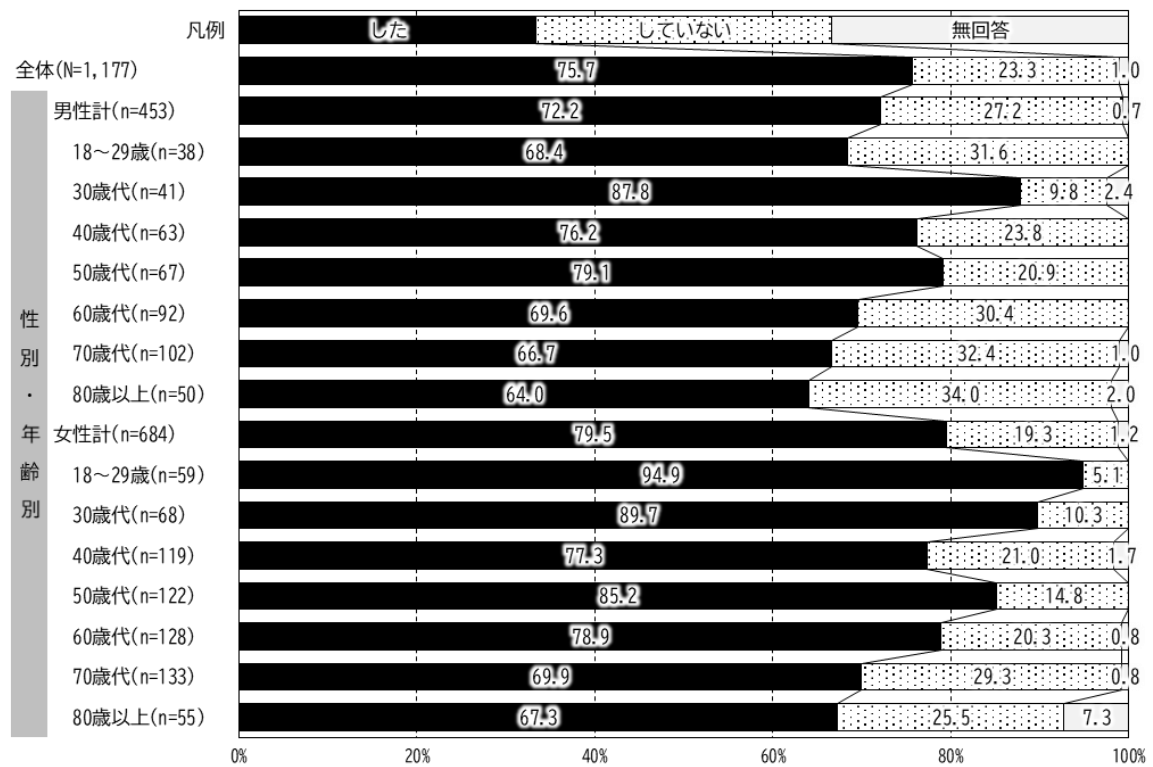
Q 外出による文化芸術イベントの直接鑑賞（テレビ、CD・DVD、インターネット配信等での視聴を除く）の有無について。

※最近1年間

最近1年間の直接鑑賞の有無についてみると、外出して何かしら文化芸術イベントの直接鑑賞を「した」と回答した人が7割以上（75.7%）を占めている。

性別・年齢別にみると、男女ともに年齢が低いほど直接鑑賞を行なっている人が多い傾向がみられるが、男性18～29歳は68.4%と低くなっている。18～29歳の若年層では男女差（男性18～29歳：68.4%、女性18～29歳：94.9%）が最も大きい。

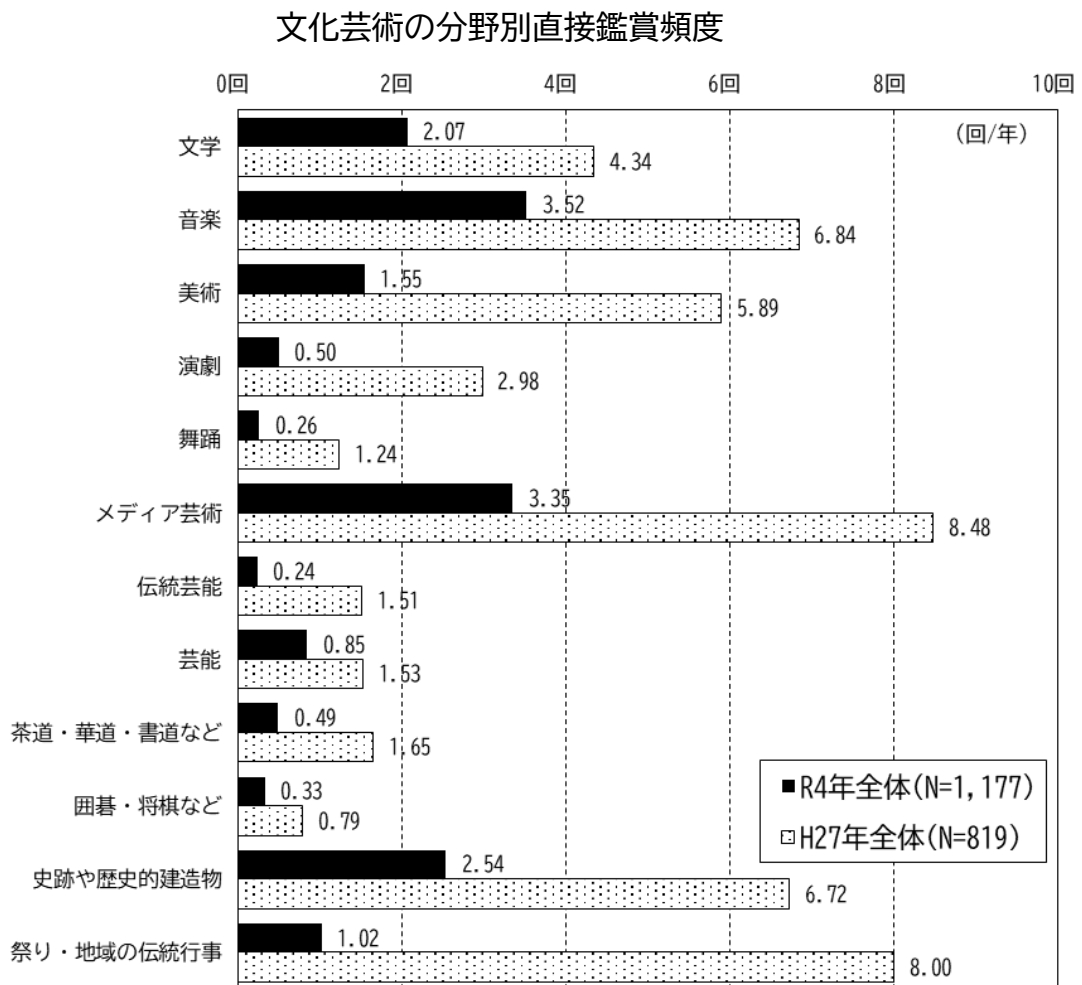
文化芸術の直接鑑賞の有無



Q 外出による文化芸術イベントの分野別直接鑑賞頻度について。
(複数回答可) ※最近1年間

最近1年間の文化芸術の直接鑑賞の頻度についてみると、平均頻度は「音楽」が3.52回／年で最も多く、次いで「メディア芸術」(3.35回／年)、「史跡や歴史的建造物」(2.54回／年)、「文学」(2.07回／年)などの順となっている。なお、最も鑑賞頻度が低いのは「伝統芸能」(0.24回／年)となっている。

前回結果と比較すると、全ての分野で平均頻度が低くなっており、新型コロナウイルスの感染拡大による影響と考えられる。特に、「祭り・地域の伝統行事」(前回比：－6.98回／年)や「メディア芸術」(前回比：－5.13回／年)は前回から大きく直接鑑賞の頻度が低くなっている。



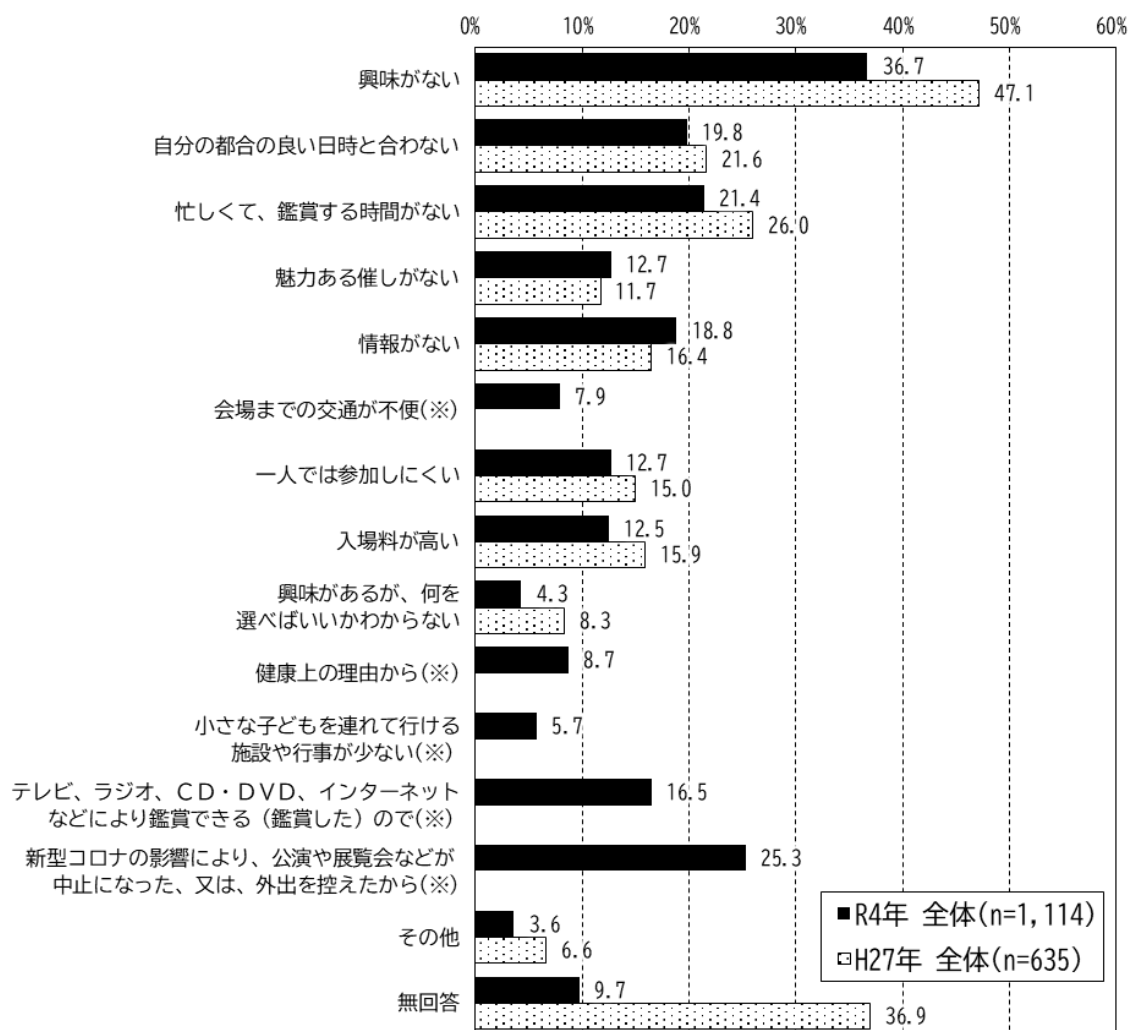
Q 外出により文化芸術イベントを直接鑑賞していない理由について。(複数回答可)

※最近1年間

鑑賞しない理由としては、「興味がない」が36.7%と最も高く、次いで「新型コロナの影響により、公演や展覧会などが中止になった、又は、外出を控えたから」(25.3%)、「忙しくて、鑑賞する時間がない」(21.4%)、「自分の都合の良い日時と合わない」(19.8%)などの順となっている。

前回結果と比較すると、「興味がない」や「忙しくて、鑑賞する時間がない」という回答は減っているものの、新型コロナウイルスの影響が鑑賞しない理由の大きな1つとなっている。

文化芸術を直接鑑賞しない理由



※R4 調査項目追加

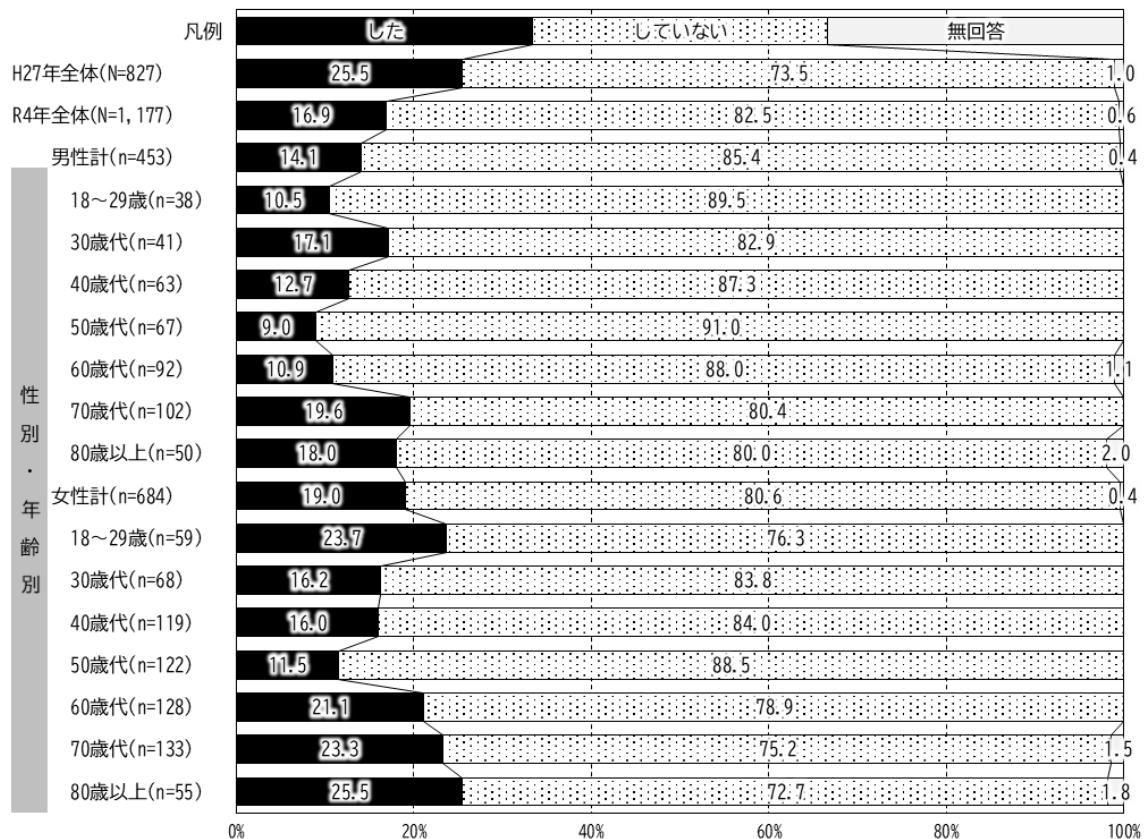
Q 文化や芸術に関する活動の有無について（鑑賞除く）。

※最近1年間

最近1年間の文化や芸術に関する活動の有無についてみると、「していない」が82.5%と大半を占めており、過去の調査結果と比較すると、「していない」（前回：73.5%）の割合は前回から更に高くなっている。

性別・年齢別にみると、男女ともに70歳代以上の高齢者層は文化や芸術に関する活動を行っている人が多い傾向がみられる。一方で、男女ともに50歳代の「していない」割合が他の年代に比べて高くなっている。18～29歳の若年層では男女差（男性18～29歳：89.5%、女性18～29歳：76.3%）が最も大きい。

文化や芸術に関する活動の有無

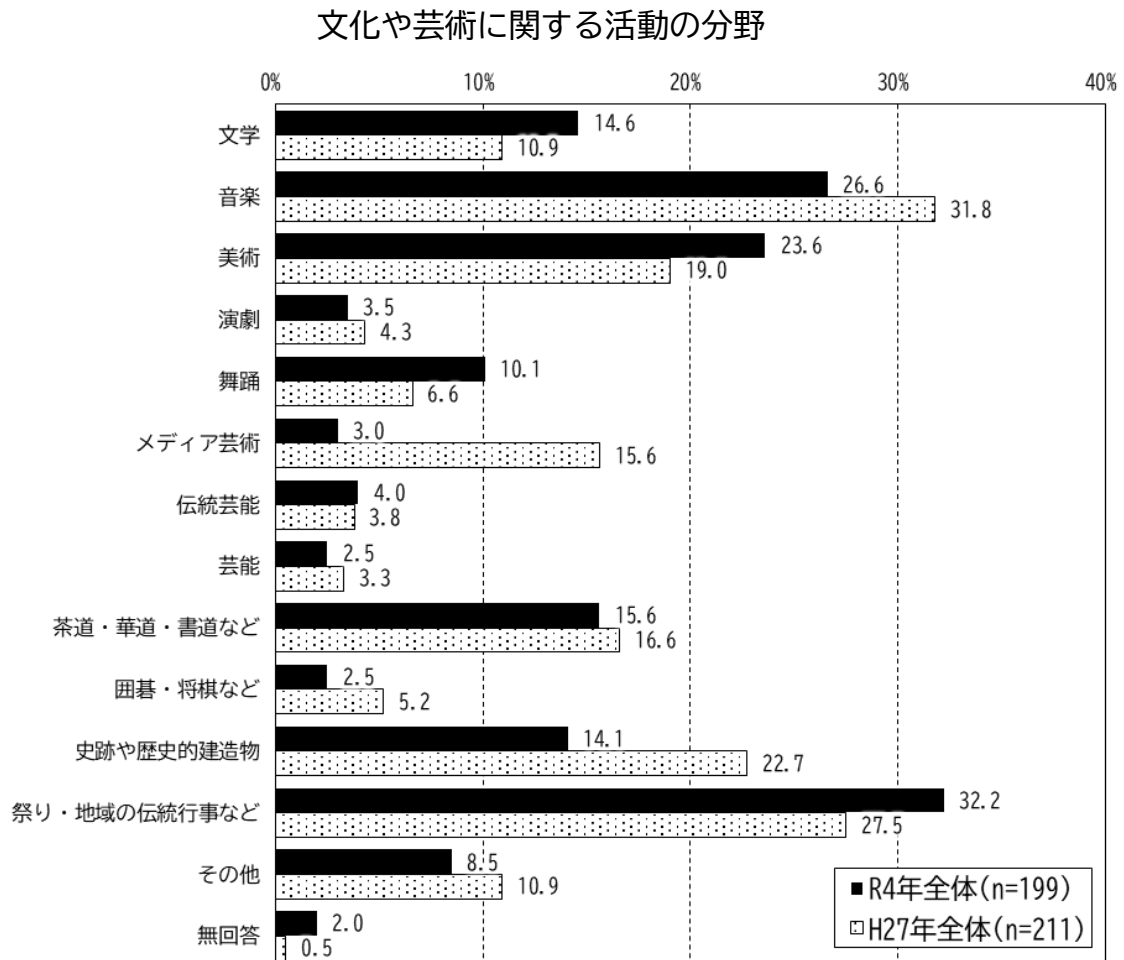


Q 文化や芸術に関する活動をした分野について。(複数回答可)

※最近1年間

文化・芸術に関する活動を最近1年間に「した」と回答した人の活動分野は、「祭り・地域の伝統行事など」(32.2%)の割合が最も高く、次いで「音楽」(26.6%)、「美術」(23.6%)、「茶道・華道・書道など」(15.6%)、「文学」(14.6%)などの順となっている。

前回結果と比較すると、「メディア芸術」(前回比: -12.6 ポイント)や「史跡や歴史的建造物」(前回比: -8.6 ポイント)は活動が減っている分野である一方、「祭り・地域の伝統行事など」や「美術」(前回比: それぞれ+4.7 ポイント、+4.6 ポイント)は活動が増えている。



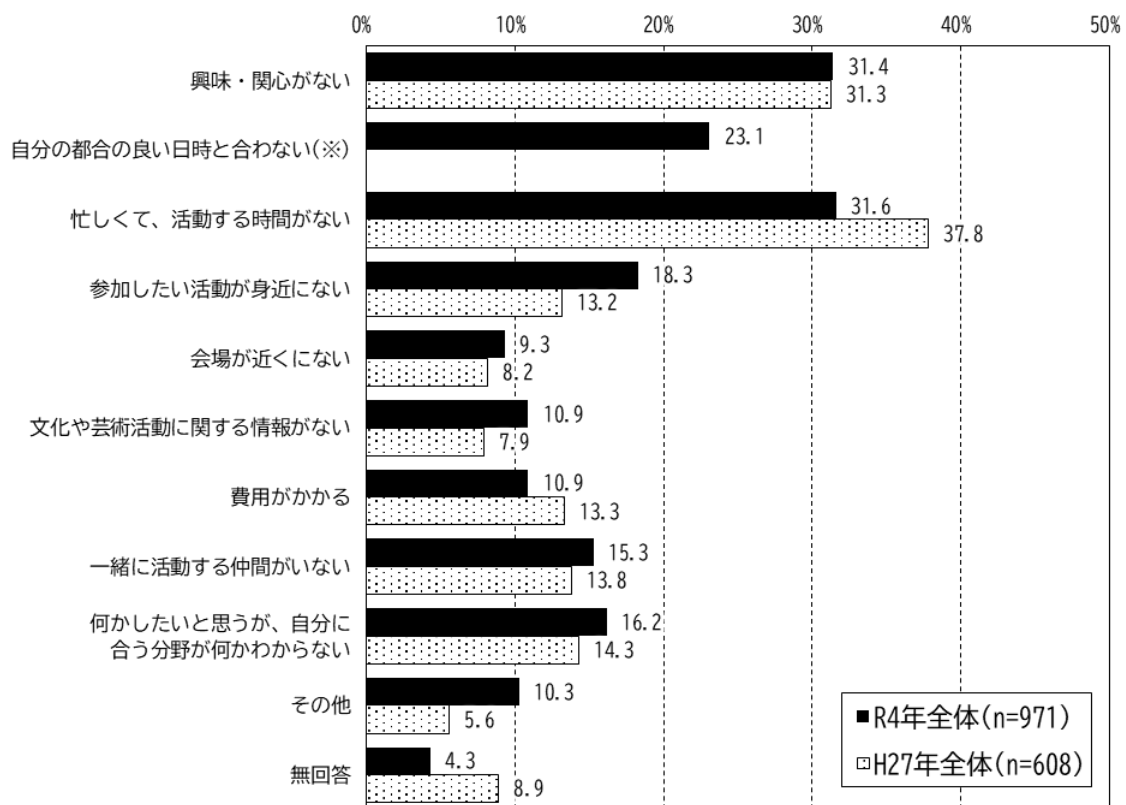
Q 文化や芸術に関する活動をしていない理由について。
(複数回答可)

※最近1年間

文化や芸術に関する活動を「していない」と答えた人に、その理由を尋ねたところ、「忙しくて、活動する時間がない」(31.6%)と「興味・関心がない」(31.4%)がそれぞれ3割を超えている。他には「自分の都合の良い日時と合わない」(23.1%)、「参加したい活動が身近にない」(18.3%)などの順となっている。

前回結果と比較すると、「忙しくて、活動する時間がない」(前回比：-6.2ポイント)が減る一方で、「参加したい活動が身近にない」(前回比：+5.1ポイント)が増えている。

文化や芸術に関する活動をしていない理由



※R4 調査項目追加

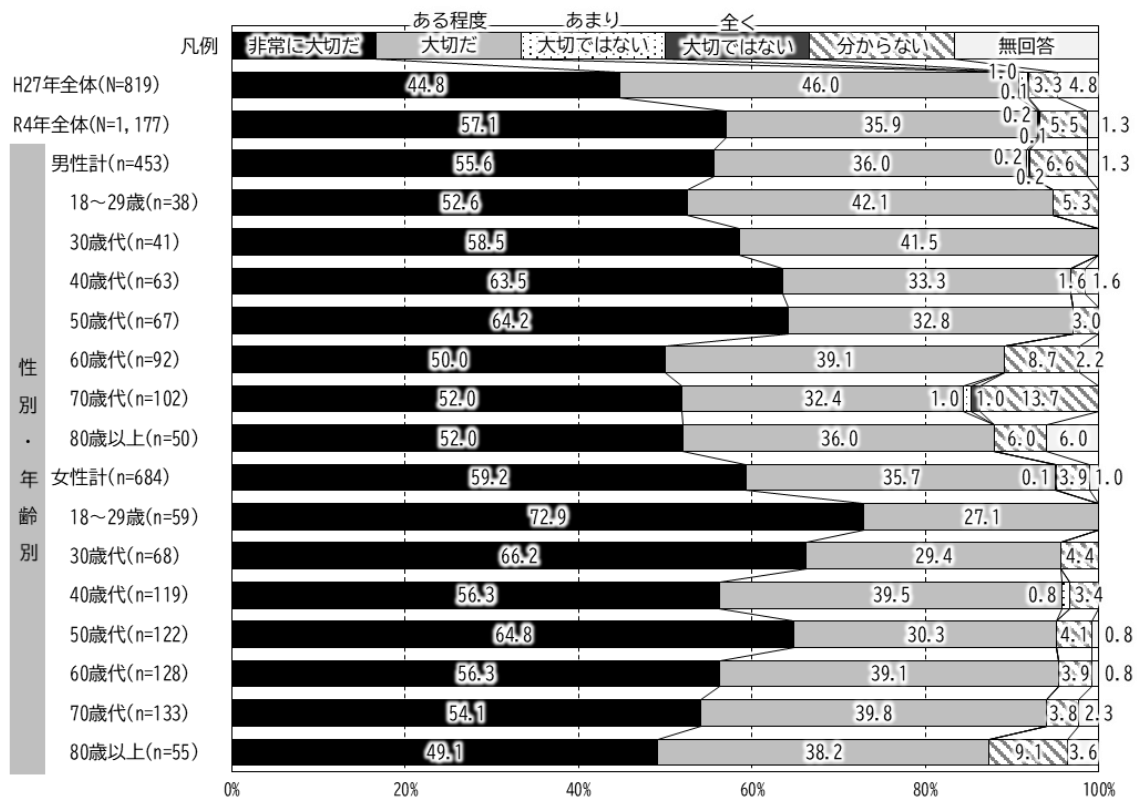
Q 子どもの文化芸術体験や文化芸術活動の重要性について。

子どもの「文化芸術体験」や「文化芸術活動」の重要性についてみると、『大切だ』（「非常に大切だ」、「ある程度大切だ」の総和）が 93.0% となっている。

前回結果と比較すると、『大切だ』は 2.2 ポイント高くなっている。

性別・年齢別にみると、男女全ての年代で『大切だ』の回答が 8 割以上となっている。

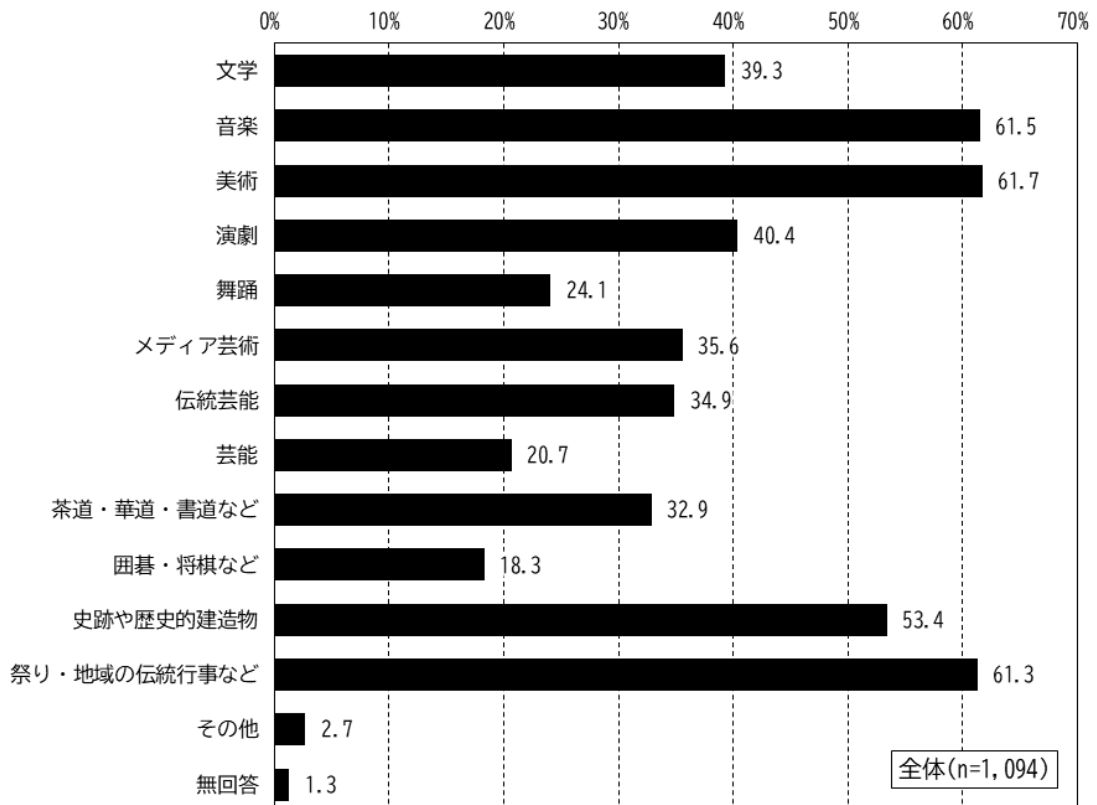
子どもの文化芸術体験や文化芸術活動の重要性



Q 子どもの文化芸術体験や文化芸術活動で大切な分野について。
(複数回答可)

分野ごとの重要性についてみると、「美術」(61.7%)、「音楽」(61.5%)、「祭り・地域の伝統行事など」(61.3%)、「史跡や歴史的建造物」(53.4%)の4分野は全体の5割以上の回答が得られている。

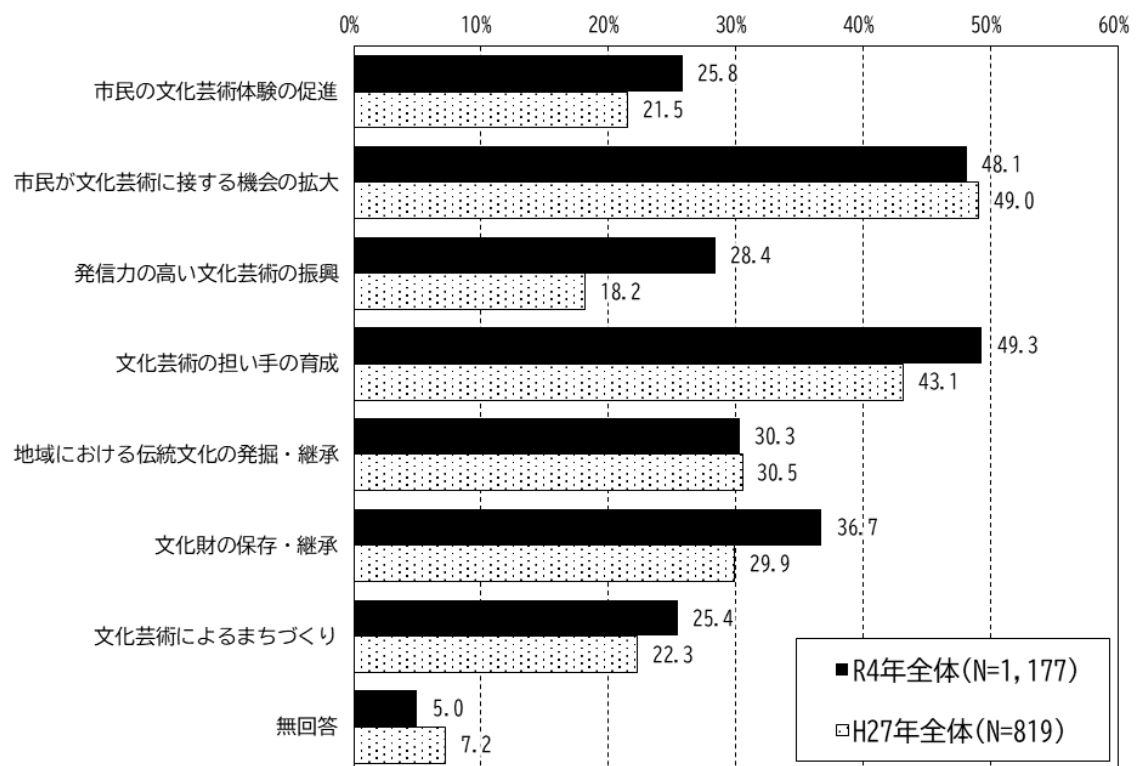
子どもの文化芸術体験や文化芸術活動に関する分野別の重要性



Q 注力してほしい文化芸術の取組について。(3つまで回答可)

文化や芸術について注力して欲しい取組みにしてみると、「文化芸術の担い手の育成」(49.3%)、「市民が文化芸術に接する機会の拡大」(48.1%)の順で高く、ともに全体の約半数を占めている。次いで「文化財の保存・継承」(36.7%)、「地域における伝統文化の発掘・継承」(30.3%)などの順となっている。

注力してほしい文化芸術の取組



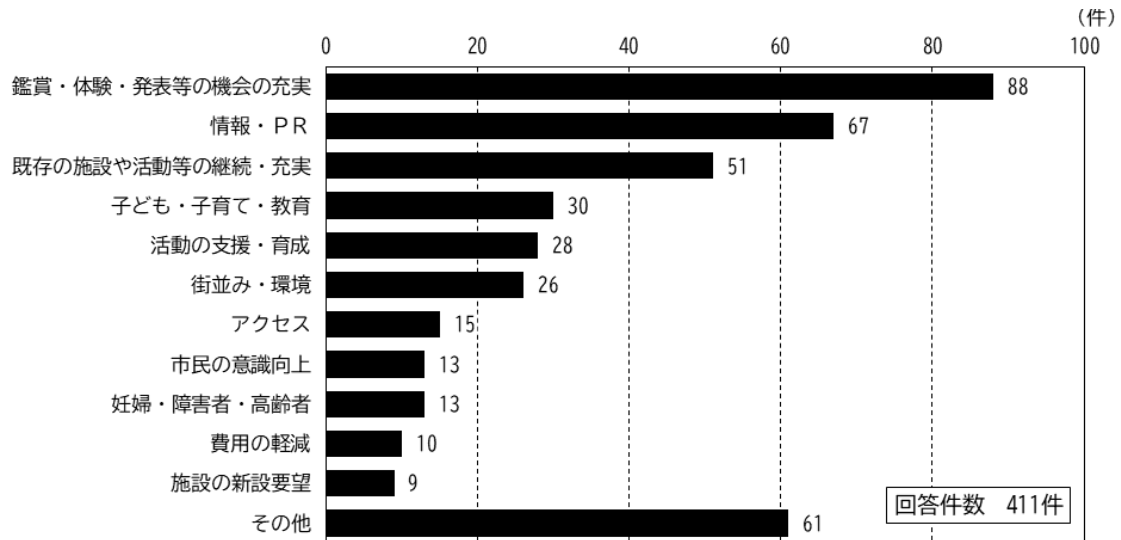
Q 北九州市の文化芸術に関する意見や要望について。(自由記述)

北九州市の文化や芸術についてのご意見・ご要望をカテゴリー別に整理した。

「鑑賞・体験・発表等の機会の充実」に関するご意見・ご要望が 88 件で最も多く、北九州市内でライブやミュージカル作品、人形劇、公募展、芸術祭や文化祭などの文化芸術に接する機会の拡大を望む声がみられる。

「情報・PR」(67 件)については、SNS やインターネット、テレビ・ラジオ、新聞や市政だよりでの文化・芸術についての情報発信の強化、「既存の施設や活動等の継続・充実」(51 件)については、北九州フィルム・コミッションによる「映画の街・北九州」の更なる発展、
「子ども・子育て・教育」(30 件)については、これからの文化芸術の担い手育成のため、多くの子ども達に興味・関心を持ってもらう環境づくりを充実させてほしいとの要望などがあがっている。

文化や芸術に関する意見や要望の概要



《件数の多かった上位3カテゴリーの意見・要望（例）》

①鑑賞・体験・発表等の機会の充実

- ・ 民間の団体や若者など、文化に取り組みたい全ての人に機会が生まれやすい市であってほしいです。(10代)
- ・ あるあるCityを中心にポップカルチャー系のイベントを開催する動きがここ数年強まっており、人出の増加を感じる事が近年増えています。大衆向けに多くの動員を見込める興行と、数万人規模の動員は見込めないものの、全国からの来訪が見込めるイベントを行うのも良いと思います。(20代)
- ・ 北九州市はミュージカル作品の上映が少ないと感じます。有名な演者さんが出演する作品が多ければ北九州市に訪れる観光客も増え、北九州市の魅力にふれる機会をつくることができ、市全体の活性化につながると思います。(20代)
- ・ 北九州芸術劇場での舞台がいつも魅力的で、楽しみにしています。これからもっと素敵な作品を誘致してください。(30代)
- ・ 文化芸術、更に歴史にふれることは子ども達や多くの人々の心を豊かにし、移住者の増加や、例えば大学で外へ出たりした人がUターンしてくるなど、市への愛着を生むと思います。長期的な視点で個人を大切にしている取り組みを行ってくれることを期待しています。(30代)
- ・ 様々な所で、小さくていいから芸術にふれられるような街になったらいいと思います。(40代)
- ・ プロのアーティストや芸術作品を、もっと北九州市で見られるようにしてほしい。(50代)
- ・ 北九州市はジャズやロック等、音楽の文化がある。もっとそんな音楽イベントが増えると良いと思う。(60代)
- ・ 日常的に文化に触れられる環境づくりを期待します。(60代)
- ・ 年老いていきますと、近くの文化芸術にしか参加できなくなる。(70代)

②情報・PRについて

- ・まだ北九州には良い所がたくさんあると思うので、ぜひまだPR されていない、つまりフォーカスされていない場所をうまく使って、北九州市をうるおいに満ちあふれる土地にしてください。(10代)
- ・北九州市にはある程度の文化財が揃っているとは思いますが、PR 等があまりうまくなく、減少を続ける人口に対して外部の人間を呼びよせる取り組みが拙いように感じます。(20代)
- ・若年層はインスタグラム等の SNS を頻繁に使用しており、情報源としているが、情報があふれる中、堅苦しいものであればスルーする。発信元のセンスも重要であると感じる。(20代)
- ・あまり知られていないイベントも多いように思うので、色々な方法で宣伝活動をしていただけると有り難い。(30代)
- ・文化的成熟度をより高めることは、市外や海外へ北九州の魅力発信することにつながると思います。これからも文化芸術によるまちづくりの推進をぜひともお願いします。(30代)
- ・東京に住んでいた時より、住民の方々の地元愛を感じる機会がたくさんあります。芸術劇場やソレイユホールなど素敵な劇場があるので、たくさんの舞台公演が開催されるよう、ぜひPR をしていただきです。(40代)
- ・情報誌を見ないと、どんな催し物があるのか知る機会を得ないのが現状だと思います。もっと、様々な世代の市民の目にとまるような取り組みが必要だと思います。(40代)
- ・高齢者はスマホやPC も使えない方がいますので、テレビやラジオ、市政だより等で催事をもっとアピールしてほしいと思います。(50代)
- ・車通勤、職場と自宅の往復、介護・子育て世代は日々の生活に追われ、情報が入ってくることが少ないです。(50代)
- ・まだ知らないことがたくさんあると思います。知らない文化芸術に出会えると楽しみにしています。(60代)

③既存の施設や活動等の継続・充実について

- ・映画の誘致が、街おこしには一番効果的と思う。(20代)
- ・アニメに強いので、その部分を伸ばす。(30代)
- ・北九州フィルム・コミッションは多くの実績があると、様々なところで拝見しています。北九州市の大きな文化芸術の1つであると思うので、今後を期待しています。(30代)
- ・夏休みに無料となっていたため、美術館や博物館に初めて行きました。行ってみるとおもしろい所もあれば、1回行けばいいと思う所もあった。何度も行きたくなるような場所になれば、「おもしろかったから行ってみて」と友人にもお勧めできて、発展につながるのではないかと。(30代)
- ・市政だよりを見ると、申し込みが往復はがきや電話によるものが多い。スマホやPCから申し込めるイベントが増えるとハードルが下がる。(40代)
- ・毎年、北九州国際音楽祭で素晴らしい演奏家の方々をお呼びいただき、またピアニストの登竜門であり歴史のある学生音楽コンクールの九州大会が響ホールで行われていたり、芸術分野において大変誇らしい環境であると思っています。(40代)
- ・子どもが学校からチラシをもらってくるので目を通しています。様々な取り組みをされているので、手がけたいと思いながらなかなか。引き続き、続けてほしいです。(40代)
- ・市の印象は、文化芸術について頑張っていると感じました。ただ、もう少し新しいものを取り入れていかなくてはならないとも考えています。(40代)
- ・日本中に北九州芸術劇場の素晴らしさが伝わってほしいと思います。あれだけ立派な劇場なので、たくさんのイベントに関わってほしいと思います。(50代)
- ・芸術劇場、響ホール、ひびしんホールと増えて、大分有名な方が来るようになり、また多くの人が出かけて行くような試みもされて、文化かおるまちに近づいたと思います。(70代)

2 子どもの文化や芸術に関するアンケート結果

(1) 調査の概要

北九州市における子どもの文化芸術活動の実態や保護者の希望を把握し、子どもを対象とした文化芸術施策を効果的に推進するための基礎資料を得ることを目的に、アンケート調査を実施しました。

項 目	概 要
調査対象	北九州市内の子育て世帯
調査方法	放課後児童クラブ利用者に質問紙を配布 WEBによる回答
サンプル数	調査票配布数 約1,000票 有効回収数 129票 有効回収率 約13%
調査時期	令和6年7月下旬～同年8月中旬

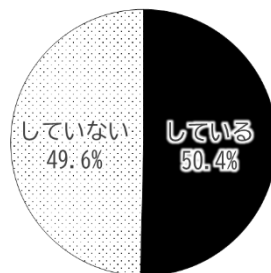
(2) 調査の結果（抜粋）

Q 学校以外における文化芸術活動の有無について。

放課後児童クラブ利用者の子どものうち、半数（50.4%）が学校以外で文化芸術活動を行っており、楽器が最も多い（33件）。

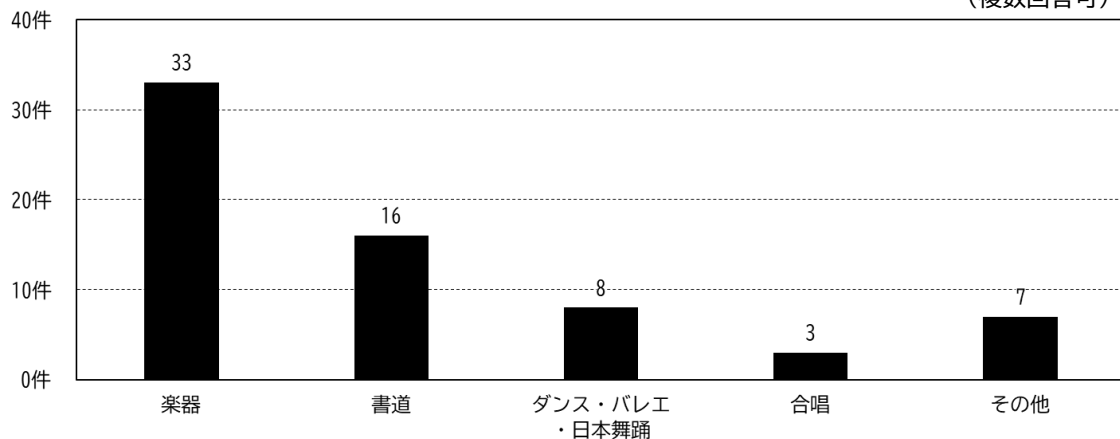
学校以外で文化芸術活動を行っていない理由は、「スポーツや塾等、他の活動をしている」が最も多い（33件）。

学校以外での文化芸術活動の有無



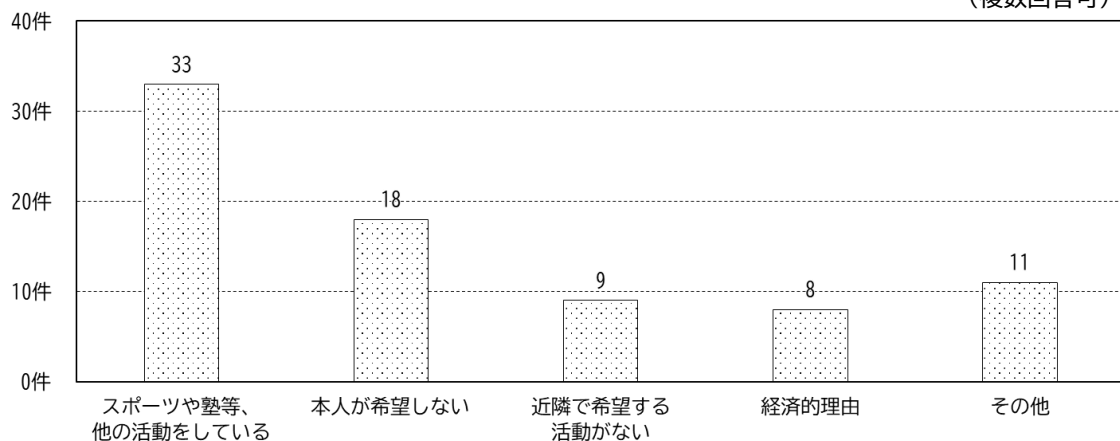
学校以外における文化芸術活動の内容

（複数回答可）



学校以外で文化芸術活動をしていない理由

（複数回答可）

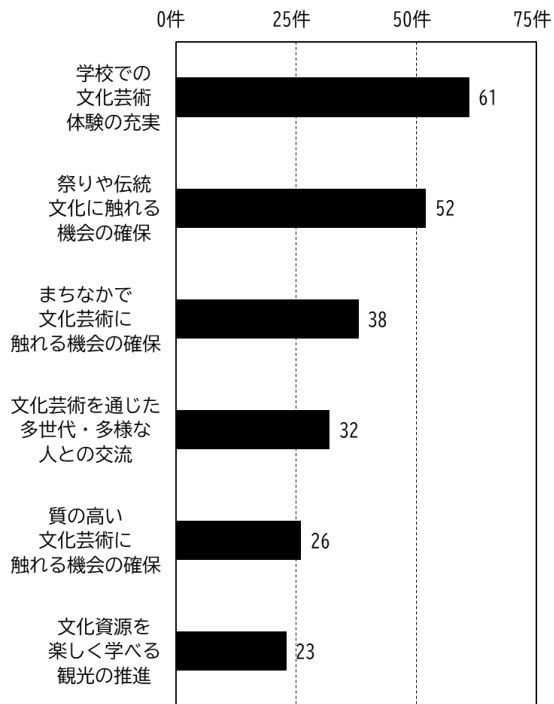


Q 子どもに対する文化芸術活動への期待について。

放課後児童クラブ利用者が、子どもを対象とした文化芸術施策で注力してほしいことは、「学校での文化芸術体験の充実」が最も多く（61件）、次いで「祭りや伝統文化に触れる機会の確保」が多い（52件）。

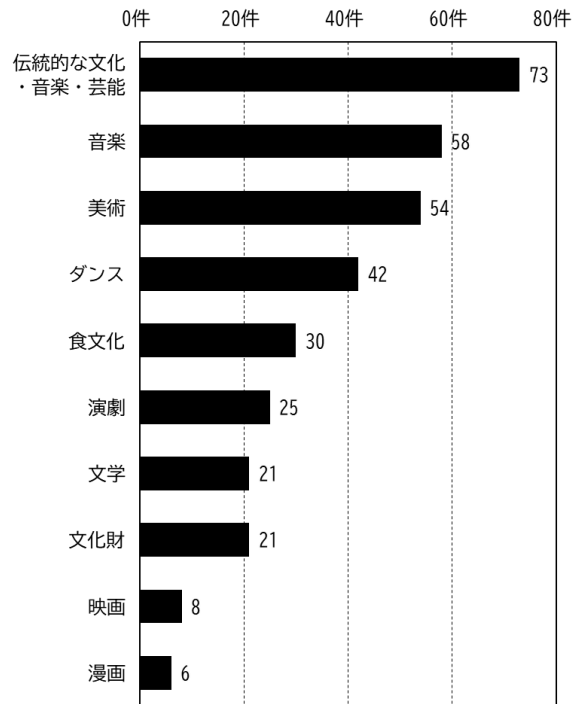
加えて、学校で経験してほしい文化芸術活動の分野としては「伝統的な文化・音楽・芸能」が最も多く（73件）、伝統文化等に関するニーズが高い。

子どもを対象とした文化芸術施策で注力してほしいこと



(複数回答可)

学校で経験してほしい文化芸術活動の分野



(複数回答可)